リスク管理

リスク管理体制の強化

TOPPANグループのサステナビリティ課題についてのリスク管理はこれまで、取締役会の管理のもと、本社主管部門、グループ会社事業(本)部各部門とサステナ委員会の下部組織であるリスクマネジメントWGが連携して推進しておりました。

2024年新たにChief Risk Officer(CRO)を任命、リスク管理に関する会議体として執行側に「リスク管理推進委員会」、監督側に「リスク管理委員会」を設置し、グループ全体のリスク管理体制の強化を図りました。(本体制強化に伴い、サステナ委員会下部のリスクマネジメントWGは解消)

(リスクマネジメント詳細については有価証券報告書「第2 事業の状況　3 事業等のリスク」を参照ください。)

サステナビリティ課題のリスク管理について、サステナ委員会とリスク管理委員会・リスク管理推進委員会が相互に連携して対応する体制に移行しております。

サステナビリティ関連のリスク管理

TOPPANグループのサステナビリティ関連のリスク管理は、サステナ委員会、リスク管理推進委員会が密接に連携して推進する総合的なリスク管理に組み込まれています。

リスク管理推進委員会は、TOPPANグループに関連する主要なリスク項目を示した「事業等のリスク」(旧「重大リスク」)を毎年選定し、アセスメント(評価、対応計画の策定および進捗管理)を行っています。「事業等のリスク」の選定にあたっては、中長期視点での顕在化の可能性、発生頻度やインパクトの強弱等を踏まえ、TOPPANグループが事業を展開するグローバルな社会・経済環境の変化に加えて、気候変動に伴う環境問題、デジタル化の進展によるサイバー攻撃の巧妙化、強制労働をはじめとする人権課題等様々なグローバルリスクへの対応も含め、サステナビリティ経営推進の観点からも全社的リスク管理プロセスの中で十分に検討されております。サステナ委員会および下部のWGにおいて検討されたサステナビリティ関連リスクも、リスク管理推進委員会が報告を受けます。

リスク管理推進委員会は、リスクのモニタリング・分析結果をリスク管理委員会に報告します。リスク管理委員会は、サステナビリティリスクを含むリスク全体から特に優先的に取り組む課題を明確にし、それらのリスクの対応検討・モニタリングを担当します。リスク管理委員会は独立した位置付けとして取締役会と連携を取り、取締役会は総合的な意思決定を行っています。